

平成30年度事業計画及び収支予算

I. 平成30年度事業計画

1. 概要

鉄道建築に係る情報交換、技術交流をはかり技術の発展に資するとともに、会員相互の連帯感醸成を目指して（1）から（7）までの事業を行ないます。

- （1）公益目的事業（「鉄道建築ニュース」の発行、鉄道建築に係る技術振興事業、鉄道駅耐震化事業）の確実な推進、実施に努めます。
- （2）機関誌「鉄道建築ニュース」は、会員相互の情報交換、技術交流の重要な場と認識し、一層の内容充実に努めます。なお、平成29年6月から印刷会社を変更して、低価格での印刷費にいたしました。
- （3）技術振興事業は、鉄道建築技術の発展、継承に資することを目指して下記の事業を実施します。
 - ・作品部門、技術会、論文・業績部門、以上3部門の業績に対する表彰を行います。
 - ・講演会、見学会等を、適宜開催します。
- （4）鉄道駅耐震化の事業（管理業務）は、国、自治体、鉄道事業者と連携して着実に推進し、現在は財産管理業務をおこなっております。
- （5）鉄道建築に関する情報、資料の蒐集、整理、保存に努め、供覧の用に供します。
- （6）鉄道建築に係る国際情報の蒐集に努め開示します。
- （7）鉄道建築技術、情報のより広範な普及を目指して、会員の増強に努めます。

2. 会務

- （1）通常総会
- （2）理事会その他
 - 理事会
 - 監査
- （3）委員会

総務委員会、事業委員会、編集委員会、情報委員会、国際委員会などを設置
特別委員会……平成29年度から、「鉄道建築のメンテナンス」について自主
研究を進めており、30年6月に成果をまとめ、8、9月号の「鉄道建
築ニュース」に概要を掲載する予定となっております。

3. 事業

- （1）機関誌「鉄道建築ニュース」刊行 基本……毎月10日発行
機関誌「鉄道建築ニュース」を、平成29年6月号からリニューアルいたしました。
- （2）顕彰事業
 - ア 協会賞作品部門（第63回）

- イ 協会賞建築技術会（第 33 回）
- ウ 協会賞論文業績部門（論文部門第 49 回、業績部門第 47 回）
- （3）鉄道駅耐震補強事業の推進
 - 公益目的支出計画による事業の確実な実施
 - 帰属財産の管理業務の完遂
- （4）講演会、見学会
- （5）特別委員会において「鉄道建築のメンテナンス」について研究の実施
 - 昨年度に引き続き、特別委員会において「鉄道建築のメンテナンス」について、研究を進めております。
- （6）図書頒布及び斡旋
 - 出版図書、既発行図書の頒布、斡旋図書の斡旋
- （7）鉄道建築関係資料蒐集・整備
 - 所有資料、図書の整備、検索システムの整備
- （8）建築に係る国際情報の蒐集、開示

II. 平成30年度予算

各支部と連携を図りつつ、会員確保の取り組みに力を注ぎます。合わせて、収入の柱の一つである広告収入の確保に努めます。具体的には、カラー広告を増やすほか、特集記事、「作品賞」などの発行のタイミングに合わせて、特別広告収入の獲得などに努めてまいります。また、平成30年度の特別収入として、事務所移転補償費が約650万円計上できる見込みです。

支出面では、平成30年6月末に新しい事務所へ移転することとしており、60万円程度の家賃増と事務所移転費用が約300万円必要となるほか、什器家具等の減価償却費が約100万円増加し、資産除却損が約140万円程度となる見込みです。（平年度では、家賃支出増が、75万円／年程度となります）

一方、29年6月から印刷費の低減を図っており、29年度中で約220万円の印刷費削減を達成しております。30年度は、約260万円／年の削減となる見込みです。